

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2024年10月下旬刊行

近代租税史論集 3

近代日本の租税と社会

近代租税史研究会 編

A5判・ハードカバー・248ページ 本体価格 7,800円

租税史を課税・収税システムの形成とその実態究明だけに終わらせるのではなく、「租税」というアプローチから広く近代日本社会を検証し直す試み。

【目次】

はしがき	小泉雅弘
I 租税と財政・資金	
一 明治元年の東幸資金調達と三井	小泉雅弘
二 戊辰戦争における高松藩および伊予松山藩の上納軍資金と鹿鳴館の建設	中川壽之
三 明治初期の直轄県における徴税政策	宮間純一
四 直轄県の貢租改革	堀野周平
II 租税と政治・社会	
五 一地方士族の理財論	林幸太郎
六 東京十五区制の形成と三新法	牛米 努
七 東京府第一勸工場をめぐる予算について	佐々木 優
八 第一次大戦後における地方税の「社会政策」的模索	中西啓太
九 古関裕而の社歌と企業ソング	刑部芳則
あとがき	

～版元から～ 租税史という研究分野は、近代日本における課税・収税システムの形成とその実態の究明はもちろん、政治・行政・経済・社会・思想・文化など多方面からの検討が不可欠です。同時に、「租税」は日本近代史への新たなアプローチを模索するためのキーワードとしても捉えられます。本書は近代租税史論集の第3弾として、「租税」を研究視角に設定するからこそ明らかになってくる近代日本社会の多様なあり方とその実態を解明します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	〈近代租税史論集 3〉 近代日本の租税と社会 近代租税史研究会 編	日本史（近代）
	ご担当 様	A5判・ハードカバー、248ページ 本体価格 7,800円 新刊 ISBN978-4-908672-78-1 C3021	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。

ご注文は (株) JRC へ

返品条件付注文です。

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230